

令和5年度 技術・家庭科 授業改善推進プラン

大田区立御園中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ICT機器を活用したワークシート等の入力や、話し合い活動等、生徒自身がタブレット端末を活用する時間を多く設定することができた。
- ・区の展示会や校内の展示会を見据え、作品を完成させるまでの見通しを立て作業に取り組ませることができた。

(2) 課題

- ・技能の実践に必要な知識が身についておらず、定期考査での平均点等も6割に達しなかった。
- ・作業途中でのつまずきに対して、自ら解決しようとする意識が低い。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

学習効果測定未実施のため、授業の様子や小テスト、定期テスト等の結果をもとに、分析・授業改善を行う。

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-----------------------------------|---|--|
| 学習習慣が身につけていない生徒が見受けられ、技能の個人差が大きい。 | 環境問題や生活と関連づけて物事を判断したり、それを活用したりしようとする意識が低い生徒が見受けられる。 | 意欲的に作業に取り組む生徒が多いが、提出物や振り返りシートへの記入等、考えたり、書いたりすることに面倒くささを感じている生徒がみられる。 |

② 第2学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--|
| 技能は向上している。道具の使い方など、作業の根拠となる知識習得については、全体として定着には至っていない。 | 課題解決のための思考力には個人差がみられ、すぐに諦めてしまう生徒も見受けられる。 | 栽培や製作に対する意欲は高いが、新たな知識を習得しようとする意識は高いとは言えない。 |

③ 第3学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--|
| 道具の使い方を習得している生徒が多くみられ、発展的な使用方法ができるようになってきている。 | 環境や生活と結びつけて物事を考えられる生徒が増えてきた。思考力を測る課題についても根拠をもって記述できる生徒が増加している。 | 提出物やノートのとまとめなど、授業に対する主体性は高い生徒が多い。貪欲に評価を上げようとしている生徒が多い。 |

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-----------------------------------|---|--|
| 基礎的・基本的な知識や技能を習得に向けた練習の時間を多く設定する。 | 生活や環境と深く関わっていることについて考える時間を多く設定し、グループでの話し合い活動を充実させる。 | 作業の準備や振り返りの大切さを伝えるとともに、具体的な記述方法や、次の授業の見通しが持てるように丁寧な説明に努める。 |

(2) 第2学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|---|
| 動画や画像を活用し、視覚的に知識が定着できるようにするとともに、実際の製作に生かせるように関連づけた指導を心がける。 | グループでの話し合い活動の時間を設定し、周囲の意見から自分の考えを見いだせるようにすることで、「考える」ことへの抵抗感の軽減を図る。 | 新たな知識習得によって得られる作業効率や作品の完成度の高さを関連づけた指導を行い、意欲向上を図る。 |

(3) 第3学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|--|
| 定着した知識が実生活のどのような場面で生かされるのかを考えさせ、「生きる知識」として活用できるよう指導する。 | 自分たちがこれから担っていく社会において、必要な考え方や行動などを、具体例を示しながら考える授業を意識する。 | I C T機器の活用を力を入れ、情報処理能力の向上に努める。また、成績を上げるためだけでなく、「自分に必要だ」と思わせる授業展開を心がける。 |